



2025年 9月298号

ふるさと

グループホームあじさい園



老人性うつと認知症の最も大きな違いは、その症状までのプロセス、時間的な経過です。老人性うつの場合には症状がおおむね1〜2ヶ月の間に同時多発的に起こります。半年ぶりに帰省した時、前回からずいぶん変わってしまったというのなら、認知症よりうつを疑わなくてはいいかもしれません。本人にははっきりした自覚症状がある時も老人性うつが疑われます。たとえば、老人性うつの場合は物忘れが増えてくると、本人はその自覚があるので「物忘れがひどくなったのはアルツハイマーではありませんか」などと自発的に医師にかかる人が多いのです。

一方、認知症の場合は物忘れが始まってから着替えをしなくなるまでに、通常5〜6年かかります。物忘れが始まった初期の頃は、身だしなみもきれいで身の回りのことはなんでもできます。そこから5〜6年ほど経つうちに少しずつ着替えをしないとかが、お風呂に入らない、お漏らししても気にしない、と進行していきます。その症状がいつから始まったのか、家族に聞いてもはっきりしません。

認知症の場合は、物忘れが多くなっていることに自分ではあまり気づいていません。そもそも病識が欠如している人が多く、自らの記憶障害にあまり不安を覚えることなくケロリとしているものです。

前述した物忘れがひどくなった、着替えをしない、お風呂に入らなくなった、なんとなく元気がない、1日中ボーッとしているといった初期症状は、老人性うつと認知症のどちらにも表れるので、医師でさえ見間違えることがあります。そのため、老人性うつが原因で記憶力が低下しているのに、認知症と誤ることで対応が遅れ本当に認知症になってしまいうことも少なからず起こっています。

うつは誰でもかかる病気とも言われます。心の健康を軽んじることはできません。あれもありこれもありと、ものごとを多面的におおらかに受け入れることも大切で、メンタルヘルスの世界では「適当」が非常に大事です。皆様と共に笑顔ですこせますように♡

9月の行事予定

7日(日) 誕生日会

9日(火) 運営推進会議

14日(日) 敬老会

28日(日) 食卓会

※塩田医師の定期往診もあります。

あじさい園のホームページもご覧ください。



誕生日会で感動の涙

森輝子様のお誕生日をお祝いしました。

冒頭から感極まり涙を流され、他の利用者様も思わずウルウル。

この日のケーキは少ししょっぱい味がしました。



冷やし中華始めました



夏の定番冷やし中華を召し上がっていただきました。

「これ食べたら夏が始まった気がするわ♪」と笑顔が多く見られペロリと完食して下さいました。

皆様で今年の猛暑を乗り切ろう！！



夏祭り開催！

